

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09040050

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成20年度～ 事業費:5,900千円 平成26年度～ 事業費:6,070千円(消費税の増税による) ※平成27年度から平成29年度までの長期継続契約 計画内容:地域交流センター管理・清掃委託業務
基本施策	4	商工業の振興	事業優先度	B		
単位施策	3	町民を支える商店街づくりへの支援	政策事務分類	1 単独自治事務(例規)		
事業名	地域交流センター管理・清掃業務委託事業					
事業期間	平成25年度～平成29年度					
事業主体	雄武町					
事業指標	施設の維持管理					
事業目標	適切な維持管理					
住民参加	無					
住民協働	無					
			見直し年度			
			担当課	9 産業振興課		
			関係課	#N/A		
			ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
			関係例規・法令名	有 地域交流センター条例		
			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	地域交流センター管理・清掃委託	地域交流センター管理・清掃委託	地域交流センター管理・清掃委託	地域交流センター管理・清掃委託	地域交流センター管理・清掃委託	地域交流センター管理・清掃委託
	事業費(千円)	30,180	5,900	6,070	6,070	6,070
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	30,180	5,900	6,070	6,070	6,070	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	23,175	5,747	5,895	5,636	5,897
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	23,175	5,747	5,895	5,636	5,897	
関 連 事 項	特定財源の名称					
	【評価・実績】	(実施内容等) 地域交流センター管理・清掃委託 利用者総数 14,027人	(実施内容等) 地域交流センター管理・清掃委託 利用者総数 13,876人	(実施内容等) 地域交流センター管理・清掃委託 利用者総数 13,526人	(実施内容等) 地域交流センター管理・清掃委託 利用者総数 15,001人	(実施内容等)
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 適切な維持管理	年度目標値 適切な維持管理	年度目標値 適切な維持管理	年度目標値 適切な維持管理	年度目標値 適切な維持管理
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率 97%	年度達成率 97%	年度達成率 93%	年度達成率 97%	年度達成率 0%
	全体達成率 19%	全体達成率 39%	全体達成率 57%	全体達成率 77%	全体達成率 77%	
	備考欄					

事業名	地域交流センター管理・清掃業務委託事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	福田 泰弘

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民、来町者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	業務経費		
【抱える課題やニーズは】	より充実した運営・管理のため、民間ノウハウを活用した管理の検討を要する。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	地域交流センターは市街地の中心に位置し、「道の駅」の指定も受けている。通年で多くの人が訪れる雄武の顔とも言える施設であることから、良好な管理・運営により利用者への満足度を高める。		① 適切な維持管理	目標年度	平成28年度
				目標値	1式
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	清潔で快適な施設の提供に加え、特産品の販売や観光情報の発信によってサービス向上を目指す。	②	実績値	1式	
			達成度	100.0%	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	施設の維持管理・清掃業務の委託	施設内に事務所を開設している商工会への業務委託			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	商工会は建物内に事務所を開設していることから施設状況を熟知しており、委託先とすることにより効率化が図られる。また、当該施設は商業地域の中核施設として位置付けられていることから、商工業に精通している団体に委託することが適当と考える。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	施設の管理状況の報告、異常個所の報告等、迅速な対応がされており、有効と判断する。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	公共工事に使用する労務単価を使用するなど、適正な委託料の算定に努めている。また、消耗品については委託契約の中にも含めず町で購入している。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	

(4)事務事業の公平性

概ね公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	特定団体との随意契約であるが、商工会は商工会法により定められている公共性の高い団体であることから、公平性は担保されていると判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
施設の管理状況の報告、異常箇所の報告等の迅速な対応による適切な維持管理が実施されており、目標は達成されていると判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
当面は現状維持が望ましいが、将来的には民間のノウハウを活用した管理の導入について検討を要する。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止